

■ 日本教育実践学会第28回研究大会開催（鳴門教育大学） 二次案内 ■

1 開催日

2025年11月22日（土）・23日（日）

2 会場

鳴門教育大学（〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地）

＊鳴門教育大学への交通アクセス

<https://www.naruto-u.ac.jp/access.html>

＊鳴門教育大学のキャンパスマップ

<https://www.naruto-u.ac.jp/campusmap.html>

3 主催・後援

主催：日本教育実践学会

後援：文部科学省，徳島県教育委員会，鳴門市教育委員会，兵庫教育大学，
兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科，鳴門教育大学

4 大会参加費等

① 参加費等

	大会参加費		情報交換会参加費		1日目弁当代 [お茶付き]
	事前支払	当日支払	事前支払	当日支払	事前支払のみ
一般会員	4,000 円	5,000 円	4,000 円	5,000 円	1,000 円
学生会員	2,000 円	3,000 円	4,000 円	5,000 円	1,000 円
非会員（一般）	4,000 円	5,000 円	4,000 円	5,000 円	1,000 円
非会員（学生）	2,000 円	3,000 円	4,000 円	5,000 円	1,000 円

●事前支払（振込）の期限を11月7日（金）にしておりましたが，11月17日（月）まで延長します。下記の銀行口座に振り込んでください。振込手数料はご負担願います。当日支払は，できるだけ避けてください。

●情報交換会，お弁当の申し込みは11月18日（火）まで受け付けております。

② 振込先

銀行名：四国銀行

店舗名：鳴門支店

口座番号：5176080（普通預金）

加入者名：日本教育実践学会第28回研究大会 準備委員 秋田美代

- ・団体名義の口座でも代表者氏名が必要とのことで，加入者名が長くなっております。お手数ですが，省略せずにご記入ください。
- ・振込人氏名欄には，「本学会会員番号 氏名」を記入してください。
- ・この口座は，第28回研究大会専用の銀行口座です。学会の入会費，年会費は，振り込まないようをお願いいたします。

③ その他

- ・領収書については、振込確認後、学会当日、受付にてお渡しします。
- ・以下の参加申込フォームにご記入の上、お手続きください。なお、フォームでの申込を行っていただけない場合は、事前に発表要旨閲覧のためのパスワードを送付することができないことをご了承ください。



参加申込フォーム： <https://forms.gle/gYoC7gS4E1RoQgDp7>

5 日 程

第 1 日目 11 月 22 日 (土)

- 9:30～ 受付
- 10:00～11:50 自由研究発表 I
(11:00～12:30 理事会 [会場：共通講義 B 棟 B103])
- 12:40～13:30 総会 [会場：共通講義 B 棟 B101]
- 13:40～15:20 特別講演 [会場：共通講義 B 棟 B101]
「次世代を見据えた教育実践（仮）」
奈須正裕（上智大学総合人間科学部教育学科）
- 15:30～17:10 課題研究発表
課題 A「生成 AI と教育実践学」
課題 B「多様性への対応と教育実践学」
- 17:30～19:30 情報交換会 [会場：鳴門教育大学大学会館]

第 2 日目 11 月 23 日 (日)

- 9:30～ 受付
- 10:00～11:50 自由研究発表 II

6 大会プログラム

【 第 1 日目（11 月 22 日） 午前の部 】

自由研究発表 I (10:00～11:50) 発表 15 分，質疑応答 5 分，発表準備・移動等 10 分

第 1 会場 (共通講義 B 棟 B202 講義室)	
10:00 – 10:20	校内研修における教師の課題認識に関する事例的研究 ー児童同士の「学び合い」を重視する授業実践を通してー 寺坂民明（埼玉県飯能市立美杉台小学校）
10:30 – 10:50	研修転移へとつながる校内職員研修の設計 廣瀬大記（信州大学大学院）
11:00 – 11:20	通級による指導と通常の学級の学びをつなぐ校内研修の試み ～「自立活動」の視点から子どもの状態を探る～ 大川華奈（宇都宮大学教職大学院） 尾崎承子（宇都宮大学教育学研究科）
第 2 会場 (共通講義 B 棟 B203 講義室)	
10:00 – 10:20	説明的文章の学習における構成を捉えることの意味 難波優太郎（岡山市立岡山中央小学校） 宮本浩治（岡山大学学術研究院教育学域）
10:30 – 10:50	文学作品読解の長期的な認知カウンセリング ーEメールによる「問題・疑問の出し合い」の交流を通してー 市川伸一（東京大学名誉教授）
11:00 – 11:20	言葉への自覚を促す「振り返り活動」のあり方 釧持太一（岡山大学教育学研究科教職実践専攻）
11:30 – 11:50	発音に重点を置いた中 1 英語学習プログラムの開発 木澤利英子（帝京大学）
第 3 会場 (共通講義 B 棟 B205 講義室)	
10:00 – 10:20	規則性発見を通じた活動が小学校 1 年生の問題解決力に与える教育的効果の検証 矢田敦之（高知大学）
10:30 – 10:50	割合のスパイラル指導の山場で割合の考えを深める授業 山崎湧太（岡山市立福田小学校）
11:00 – 11:20	関係図のかき方にみる数量関係把握の様相 ー第 3 学年の整数倍における学習を事例としてー 中畑茉緒子（島根大学大学院教育学研究科）
11:30 – 11:50	インフォーマルな知識を利用した割合の授業の構想 佐藤茂太郎（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科）

第 4 会場		(共通講義 B 棟 B206 講義室)
10:00 – 10:20	小学校体育授業における教科内容に関する形式的知識と言語計画への介入が教師の言語的相互作用に及ぼす影響	上野裕邦 (兵庫教育大学大学院) 上原禎弘 (兵庫教育大学)
10:30 – 10:50	対話型音楽鑑賞経験プログラムにおける構成と対話内容との関連性	池田匡史 (岡山大学学術研究院教育学域) 宮本浩治 (岡山大学学術研究院教育学域)
11:00 – 11:20	教職大学院「教科教育」領域における国語科「観」を捉え直す学修の開発 ーオランダの言語教育論を省察の手がかりとする取り組みー	古山典子 (福山市立大学) 瀧川淳 (国立音楽大学)
11:30 – 11:50	生徒授業評価からみる実技科目を指導する教員の力量形成 ～座学科目との比較を通して～	山口隆範 (びわこ成蹊スポーツ大学)
第 5 会場		(共通講義 B 棟 B207 講義室)
10:00 – 10:20	校長から見たチーム担任制の実際と可能性	三浦清孝 (京都市教育委員会)
10:30 – 10:50	「チーム担任制」の成果と課題に関する管理職の意識構造 ーA 市立小学校 27 校の実践事例集の自由記述分析からー	小林元気 (鹿児島大学) 三浦清孝 (京都市教育委員会) 中井咲貴子 (園田学園大学) 新井寛規 (羽衣国際大学) 山野実紀 (京都文教小学校) 安田公一 (佛教大学) 原清治 (佛教大学)
11:00 – 11:20	教員の協働はいかにして形成されていくのか ー学年 (チーム) 担任制の事例に着目してー	久下泰史 (川西市立多田小学校)
11:30 – 11:50	学年団による若手教員への OJT について ～小学校の教科担任制の実践を通して～	山崎公平 (岡山市立芥子山小学校)

(理事会 11:00～12:30 [会場：共通講義 B 棟 B103])		

◎昼 食 11:50～12:40 [会場：共通講義 B 棟 B101]		
◎総 会 12:40～13:30 [会場：共通講義 B 棟 B101]		

【 第 1 日目（11 月 22 日） 午後の部 】

特別講演（13:40～15:20） [会場：共通講義 B 棟 B101]

「次世代を見据えた教育実践（仮）」

奈須正裕（上智大学総合人間科学部教育学科）

課題研究発表（15:30～17:10） 発表 15 分，質疑応答 5 分，発表準備 5 分

第 1 会場 課題 A「生成 AI と教育実践学（1）」 (共通講義 B 棟 B207 講義室)

15:30 – 15:35	座長による趣旨説明
15:35 – 15:55	道徳科指導における「学びの本質」について考える 松下恭平（名古屋市立平針北小学校） 作田澄泰（九州女子大学）
16:00 – 16:20	生成 AI を教育実践に生かす 重松孝（教育計画研究所）
16:25 – 17:10	総括討議

第 2 会場 課題 A「生成 AI と教育実践学（2）」 (共通講義 B 棟 B202 講義室)

15:30 – 15:35	座長による趣旨説明
15:35 – 15:55	階層分析法（AHP）を用いた授業の質を改善する評価手法の開発 王澤華（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科）
16:00 – 16:20	教員養成課程における「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」のカリキュラム開発と授業実践 井上久祥（上越教育大学）
16:25 – 17:10	総括討議

第 3 会場 課題 B「多様性への対応と教育実践学」 (共通講義 B 棟 B203 講義室)

15:30 – 15:35	座長による趣旨説明
15:35 – 15:55	家庭科における互いに支え合う高齢社会に向けた授業開発 — 絵本を活用した実践から — 喜多海斗（鳴門教育大学） 速水多佳子（鳴門教育大学）
16:00 – 16:20	数学教育学における equity 研究の現在 早田透（鳴門教育大学）
16:25 – 17:10	総括討議

◎情報交換会 17:30～19:30 [会場：鳴門教育大学大学会館]

【 第2日目（11月23日） 午前の部 】

自由研究発表Ⅱ（10:00～11:50） 発表 15 分，質疑応答 5 分，発表準備・移動等 10 分

第1会場

（共通講義 B 棟 B202 講義室）

- | | |
|---------------|---|
| 10:00 – 10:20 | 小学校における組織的な授業改善のあり方
～「目指す子ども像」実現に向けた国語科指導を事例として～
河本章宏（早島町立早島小学校）
宮本浩治（岡山大学）
池田匡史（岡山大学）
松田聡（岡山大学） |
| 10:30 – 10:50 | 解釈主義的組織シンボリズムを援用した授業分析方法論（1）
高橋朋子（近畿大学）
吉川武憲（近畿大学）
東郷多津（京都ノートルダム女子大学）
西之園晴夫（NPO 法人学習開発研究所） |
| 11:00 – 11:20 | 解釈主義的組織シンボリズム論に基づく授業開発
東郷多津（京都ノートルダム女子大学）
高橋朋子（近畿大学）
西之園晴夫（NPO 法人学習開発研究所） |
| 11:30 – 11:50 | 教育実践研究における教育技術的アプローチ
西之園晴夫（京都教育大学，NPO 法人学習開発研究所） |

第2会場

（共通講義 B 棟 B203 講義室）

- | | |
|---------------|---|
| 10:00 – 10:20 | 5 年間のポケットオルゴールの制作と寄贈活動のまとめ
～特別支援学校を対象に～
山之内幹（南九州大学） |
| 10:30 – 10:50 | 学校教育に関わる理学療法士を対象とした研究の動向と課題
畑翔太（佛教大学） |
| 11:00 – 11:20 | 安全配慮義務高度化に対応した学校安全の研究－プール事故を防ぐ
新福悦郎（石巻専修大学）
蜂須賀洋一（上越教育大学）
萩原和孝（第一工科大学） |
| 11:30 – 11:50 | 暑熱環境下において温湿度上昇を抑えることが可能な児童用帽のデザイン開発の試み
－色・素材・形状を考慮した新しい赤白帽の提案－
北徹朗（武蔵野美術大学） |

第 3 会場		(共通講義 B 棟 B205 講義室)
10:00 – 10:20	小学校英語指導力と自律的学習者の育成	西田寛子 (中国学園大学)
10:30 – 10:50	保育者養成における「演劇的活動」の理論的背景と教育実践の意義	山本直樹 (長野県立大学)
11:00 – 11:20	鬼ごっこへの取り組みが 5 歳児の実行機能と敏捷性を高める効果	青山翔 (山口大学) 守田冴也香 (平川保育所)
11:30 – 11:50	小学 1 年生の CHEXI Japanese による実行機能と教室行動と学力	山本訓子 (関西福祉科学大学) 松村京子 (兵庫教育大学)
第 4 会場		(共通講義 B 棟 B206 講義室)
10:00 – 10:20	理科の有用性の認知を高める授業デザインとその実践	松田泰斗 (信州大学大学院教育学研究科) 植原俊晴 (信州大学教育学部)
10:30 – 10:50	『初等教育における統計教育を起点とした Numeracy の育成の実践』 -SDGs 達成度指数データと藻類光合成実験による数的リテラシー育成-	榎本裕司 (賢明学院小学校)
11:00 – 11:20	数学の自律的学習能力を高める探究活動	秋田美代 (鳴門教育大学) 梶浦将良 (徳島市加茂名中学校)
11:30 – 11:50	運動領域と保健領域の連関性を強化する授業実践 ～「心の健康」と「陸上運動」を一体化した単元計画の試作を通して～	吉岡勇翔 (宇都宮大学教育学研究科) 尾崎承子 (宇都宮大学教育学研究科) 石塚諭 (宇都宮大学)

10:00 – 10:20	生徒は学校生活でどのように自己効力感を高めているのか ーA 中学校における生徒アンケートデータよりー	浅田瞳 (京都文教大学) 原清治 (佛教大学)
10:30 – 10:50	生徒のコミュニケーションスキル向上に関する実践研究 ー演劇ワークショップの効果を管理職はどのように認識しているかー	長谷川誠 (神戸松蔭大学) 古市文章 (佛教大学) 相馬直子 (京都府教育庁) 浅田瞳 (京都文教大学) 原清治 (佛教大学)
11:00 – 11:20	合理的配慮提供学生に対する定期面談フォローの効果に関する予備的検討 ーアンケート調査自由記述回答の SCAT による質的分析を通してー	山根創 (高知大学) 五十嵐哲也 (愛知教育大学)
11:30 – 11:50	小学校教師の生徒指導スキルがバーンアウトに与える影響の検討	山本裕貴 (兵庫教育大学大学院) 西村晃一 (摂南大学)

7 参加にあたっての留意点

◆参加者の方

- ・当日要旨へのアクセス方法は、参加申し込みの際に伺ったメールアドレス宛にご案内します (jssep2025se@naruto-u.ac.jp からのメール受信を許可するよう、事前の設定をよろしくお願いたします)。各自パスワードを入力し、ダウンロードして参照してください。大会参加時には、PC もしくはタブレット端末を持参されることをおすすめします。
- ・学内ネットワークをご利用いただくことはできませんので、PC 等で資料をご覧になる方は、事前に資料をダウンロードしていただくか、モバイル Wi-Fi などをご持参ください。
- ・各机にコンセントが設置されている教室はありませんので、PC 等は事前に充電をしてからご参加ください。

◆発表者の方

- ・パソコンは発表者持ち込みにてお願いいたします。接続ケーブルは用意いたしますが、HDMI コネクタで接続することになります。Apple 社の Mac や Microsoft 社の Surface など、コネクタの形状が異なるパソコンで接続する場合は、必ず接続アダプターをご持参ください。接続アダプターを持参していないことによるトラブルについては対処できません。
- ・紙の当日資料を準備される方は 20 部作成し、発表当日、発表会場 (教室) までお持ちください。
- ・大会事務局では印刷などの対応は一切致しません。また 2 日目の資料を 1 日目にお預かりすることもできません。

◆要旨集について

- ・紙媒体の『発表要旨集』は用意しておりません。発表要旨につきましては、上述の通り、事前にお知らせした方法により各自ダウンロードしてご参照ください。

8 研究大会実行委員会事務局

日本教育実践学会第 28 回研究大会 実行委員会

実行委員会顧問 吉本佐雅子

実行委員長 久我直人

実行委員・事務局長 早田透

実行委員 葛西真記子 井上奈穂 福井典代 速水多佳子 川上綾子 石内久次 秋田美代

問合せ先 e-mail : jssep2025se@naruto-u.ac.jp

実行委員・事務局長 早田透